

平成26年度 首都高速道路事業評価監視委員会 議事要旨

日 時：平成27年2月9日(月) 17:30～19:00

場 所：首都高速道路株式会社 10階会議室

出 席：委員長 森地 茂（政策研究大学院大学 特別教授）
委 員 石田 東生（筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授）
田中 里沙（株式会社 宣伝会議 取締役 編集室長）
永田 一彦（一般社団法人 日本自動車連盟 交通環境部長）
根本 勝則（一般社団法人 日本経済団体連合会 常務理事）
山内 弘隆（一橋大学大学院商学研究科 教授）

対 象：首都高速中央環状新宿線の事後評価

議 事：

1. 事業評価について：事業評価の制度について事務局より説明
2. 審 議：対応方針については原案通り了承

(主な意見)

- ・中央環状新宿線については各効果が十分に発揮されており、全体評価について異論なし。
- ・従来のB/Cなどの枠を超えた事業評価手法について今後検討して頂きたい。
- ・改良工事などの効果については、しっかりデータをモニタリングしてユーザーに示していくべき。
- ・品川線開通後に予測される渋滞などに対しては早期に対応をお願いしたい。
- ・分合流の案内が判り難い箇所については、ITS技術を活用する等のソフト的対策も検討してほしい。
- ・大橋JCTのまちづくりは、首都高ユーザー以外にも大きな効果があった計画だったと思うので、一般の方々にも広く理解してもらえるようにPRすべき。
- ・トンネル防災に関する管理やPRをしっかり行い、ユーザーが不安感を抱かないような環境をつくって欲しい。
- ・中央環状線全体でどうなったかという検証もぜひお願いしたい。
- ・非常に安心感のある道路であり、更に機能が上がるよう現在の課題に対してもしっかりと対応して頂きたい。
- ・事後評価については今後の事業の改善につながることを主たるスタンスとして臨んで頂きたい。

以 上